

ワンスイッチリモコン使用説明書

[テレビ6操作]

Rev.533_74

「リモートコントローラー RM-A533 取扱説明書」もあわせてご覧ください。

取扱説明書と電池は台紙の中にあります。

◆ 概要

- ワンスイッチリモコンは1つのスイッチでテレビのチャンネル+、音量上げ下げ、番組表、放送切換、電源のあわせて6つの操作ができるリモコンです。
- ボタンを直接押してスペアのリモコンとしても使用できます。

写真のスイッチは付属しません



◆ ご使用前に

- リモコンの裏ふたを開け、単3電池2本を入れてください。
- 操作したいテレビに合わせてテレビのメーカー設定を行ってください。
設定方法は「RM-A533 取扱説明書」(10～11 ページ)をご覧ください。

(例) パナソニック製テレビの場合 [11101、11102]

- (1) リモコンの「電源」ボタンを押します。
- (2) 「電源」ボタンは押したまま、「決定」ボタンを2秒以上押し続けます。
- (3) 「ビビビ・・・」と音が鳴り始めたら2つのボタンから指を離します。
- (4) ①、①、①、⑩、①の順に数字ボタンを押します。
(「0」を入力するときは数字ボタン⑩を押します)
- (5) 設定番号の入力が完了すると、「ビビビ・・・」音が止まり、「ピー」と長く音が鳴ります。
- (6) 「電源」ボタンを押して実際にテレビの電源が入るか確認します。
- (7) もし電源操作ができない場合は(1)からやり直し、(4)で押す数字ボタンを11102に変えて試してください。



- 電源が入ることを確認したら、チャンネル+、音量大、小ボタンの動作も確認してください。

- 操作用スイッチを「スイッチ」ジャックに差し込みます。
操作用スイッチは 3.5mm ミニプラグ付きのものを使用してください。



◆ 操作方法

- スイッチを短く1回「トン」と押すとブザーが「ピッ」と鳴ります。
- スイッチを離し少したつと違う音でブザーが鳴り、リモコンのチャンネル+操作が行われます。
- スイッチを「トントン」と2回続けて押すと音量大(上げ)操作が行われ、3回続けて押すと音量小(下げ)操作が行われます。
- 音量大、音量小操作を行った直後にスイッチを1回押すと、同じ操作がもういちど行われ、音量を連続して上げ/下げできます。
- スイッチを4回続けて押すと、番組表ボタン操作が行われ、番組表が表示されます。同じ操作をもういちど行うと番組表は消えます。
- スイッチを5回続けて押すと、放送切換操作が行われ、操作ごとに「地デジ」-「BS/CS」-「地デジ」と交互に変わります。

スイッチ	リモコン
1回	チャンネル+
2回	音量大
3回	音量小
4回	番組表
5回	放送切換
6回	電源

- BSからCS1, CS2へ切り換えたいときは、放送切換操作を行った直後にスイッチを1回押してください。1回押すごとに「BS」-「CS1」-「CS2」-「地デジ」-「BS」の順に切りかわります。
- スイッチを6回続けて押すと、電源オン/オフ操作が行われます。
- スイッチを7回以上続けて操作した時リモコン操作は行われません。(キャンセル)
- スイッチを押すごとに鳴る音の音程が変わります。(ドレミファ)

◎設定／調節

調節の時リモコンのボタンを押す必要があるため、テレビが反応します。
テレビの主電源を切るか、リモコンを別の方向に向けて操作してください。

◆ スピード調節

- スイッチを続けて押す時は、スイッチを離した後「ピー」と鳴ってリモコン操作が実行されるまでに次の押す操作を行う必要があります。
- スイッチを離した後「ピー」と鳴るまでの時間は調節できます。
- 時間を短くするとスイッチ操作からテレビが反応するまでの時間が短くなりますが、スイッチをすばやく操作する必要があります。
- 時間を長くするとスイッチをゆっくり操作できますが、スイッチ操作からテレビが反応するまでの時間が長くなります。

● 設定方法

- リモコンの「地デジ」ボタンを押しながら「チャンネル+」ボタンを押すとブザーが鳴り、時間が短くなります。
- リモコンの「地デジ」ボタンを押しながら「チャンネル-」ボタンを押すとブザーが鳴り、時間が長くなります。
- ボタンを押したままにすると連続して増加／減少します。
- 最大値／最小値に達し、増加／減少できなくなるとブザーが短い間隔で鳴ります。



◆ ブザー音の入／切設定

- スイッチ操作時の音(ドレミ音)とリモコン動作時の音をそれぞれ入／切できます。
- スイッチ操作時の音
 - 「BS/CS」ボタンを押したまま「音量小」ボタンを押します。
 - 「ピッ」と短く音が鳴った場合は切る(消す)設定になっています。
 - 「ピー」と長く音が鳴った場合は入れる(鳴らす)設定になっています。
 - 「BS/CS」ボタン+「音量小」ボタンで交互に切りかわります。
 - スイッチ操作後リモコン操作が行われるときの音は、次項で設定してください。
- リモコン動作時の音、ボタンを直接押したときの音



「RM-A533 取扱説明書」(19 ページ)「ボタンタッチ音の入／切」

- 「機能」ボタンを押したまま「音量小」ボタンを押します。
- 「ピッ」と短く音が鳴った場合は切る(消す)設定になっています。
- 「ピー」と長く音が鳴った場合は入れる(鳴らす)設定になっています。
- 「機能」ボタン+「音量小」ボタンで交互に切りかわります。

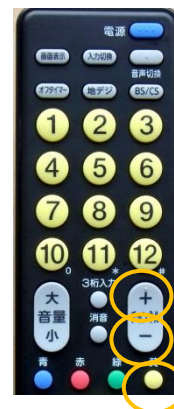


◎拡張機能

必要に応じて設定を行ってください。(設定内容によってはかえって使いにくくなる場合もあります)

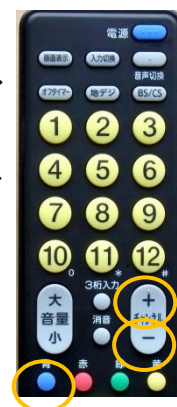
◆ 繰り返し操作の待ち時間設定

- 放送切換、音量大／小の操作後、繰り返し待ち時間内に再びスイッチを押すと、スイッチ1回で同じリモコン操作を繰り返し行うことができます。
- 時間を短くするとすぐに別の操作を開始できますが、繰り返し操作のためのスイッチ操作はすばやく行う必要があります。
- 時間を長くするとテレビの反応を見てから繰り返し操作を行うことができますが、別の操作を行う場合は待つ必要があります。
- 設定方法
 - リモコンの「黄」ボタンを押しながら「チャンネル＋」ボタンを押すと、待ち時間が長くなります。
 - リモコンの「黄」ボタンを押しながら「チャンネル－」ボタンを押すと、待ち時間が短くなります。
 - 「黄」と「チャンネル＋」または「チャンネル－」ボタンを押したままにすると連続して増加／減少します。
 - 設定値が変わるごとにブザーが異なった回数鳴ります。



◆ ばたつき除去設定

- 軽い操作のスイッチを使用したときや不随意運動があるとき、スイッチのオンオフがいちどで切りかわらず、ばたつくことがあります。ばたつきがそのままスイッチの操作回数としてカウントされると、意図した回数よりも多いスイッチ操作回数のリモコン操作が行われることがあります。
- ばたつき除去は、スイッチがオンからオフに切りかわるときに、オフが所定の時間継続した時点でオフと認識するようにしたものです。短時間のオフを無視することによりばたつきの影響を小さくできます。
- オフと認識するまでの時間を長くするほどばたつきの影響を小さくできますが、スイッチを素早く操作したときのオフも無視されるようになるため、スイッチ操作をゆっくり(間隔をあけて)行う必要があります。
- 設定方法
 - リモコンの「青」ボタンを押しながら「チャンネル＋」ボタンを押すと、時間が長くなり、除去効果が強くなります。
 - リモコンの「青」ボタンを押しながら「チャンネル－」ボタンを押すと、時間が短くなり、除去効果が弱くなります。
 - 「青」と「チャンネル＋」または「チャンネル－」ボタンを押したままにすると連続して増加／減少します。
 - 設定値が変わるごとにブザーが異なった回数鳴ります。



◆ 長押し設定

- 電源操作をスイッチ6回ではなくスイッチの長押しで行うように変更することができます。
- スイッチを押したままにして電源操作が行われるまでの時間(長押し時間)はスピード調整に連動して変わりますが、スピード調整の時間と長押し時間の比率を設定により変えられます。
- 長押しと認識されるのは1回目のスイッチ操作だけです。たとえば「短長」と操作した場合は短2回として扱われます。

● 設定方法

- リモコンの「BS/CS」ボタンを押しながら「3桁入力」ボタンを押してください。ボタンを押すごとにブザーが1回から4回鳴り、設定が切りかわります。

ブザー1回:長押しなし (スイッチ6回で電源操作)

ブザー2回:長押しあり、長押し時間はスピード調整値と同じ

ブザー3回:長押しあり、長押し時間はスピード調整値の2倍

ブザー4回:長押しあり、長押し時間はスピード調整値の3倍



- 注:PPSスイッチ(ピエゾニューマチックセンサースイッチ)は長押しができません。長押し操作に適していませんので、「長押しなし」に設定して使用して下さい。